

# 和歌山大学教育学部附属特別支援学校 学校運営協議会

令和7年度第3回 2月6日(金) 10:00~12:00

出席者:委員5名(谷口委員、土橋委員、森井委員欠席)、事務局本校職員4名

## 次第

- 1 開会 学校長挨拶
- 2 本日の日程について
- 3 報告・協議
  - ・今年度の学校運営方針及び地域コミュニティに基づく取組報告について
  - ・学校経営評価の承認について
  - ・学校評価について
  - ・進路状況について
- 4 その他
  - ・情報共有、意見交換
  - ・次年度について
- 5 閉会 学校長挨拶

## 報告等についての記録

### ● 学校からの報告に際して各委員より

(山路委員) 学校での活動を HP から発信していくことは大事である。新しい HP に刷新されたが、各学部の時程表が新しい HP には掲載されていない。外部からは見たい内容であると思うので、検討してはどうか。学校内での行事などを見学したり一緒に参加したりと地域の者が参加できたりするといいのだが。ラジオ体操を担当している班長さんたちは関心があるかもしれない。

(米田委員) HP 発信、周知については、必要である。今年度の研究発表会は、メンタルヘルスについての研究で、目標にもリンクしていた。高等部が10人1クラスになったことで先生一人一人見る力は弱くなってしまう。特性を持った子供もたくさんいる。それをどれだけ把握できるか、支援の共有が必要である。また、教師の力量を上げていく、学んでいく必要がある。

(西委員) 評価するということは、難しい。色々な保護者の思いがある。会って直接話をするのが大事である。交流すること、これも難しいと思う。違う学校の児童生徒と会ったから交流したということにはならないので、先生方は交流が弱いということをそれほど気にしなくてもよいと思う。子供たち

は自然と友達になるのではないかと思う。

(植野校長) 交流学习については、せねばならない・・・ではなく無理な設定でなく環境設定をいかにさりげなくできるかと考える。

(林委員) 研究をやっているからと言って、特別支援教育に係る指導の土台ができていないとは限らない。小学校や中学校から赴任してきた先生方は、特別支援教育、障害のことについて基礎的知識を持つことが必要である。



●学校経営計画書及び評価書について

資料を基に校長が説明。

⇒学校経営計画書及び評価書については委員の皆様より承認していただく。